

事業実績書

事業名	沼津ロゲイニング&バスロゲイニング
場所	沼津市内
期間	平成30年 4月 1日 ~ 平成30年 8月 30日
日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>【事業内容】 ロゲイニング開催実績がある株式会社 M's PLANNING と、中央公園内の沼津ランニング&スキルズステーション、株式会社東海バスオレンジシャトルが協力して実行委員会を組織し、ラン&ウォークだけでなく、バスを使用したロゲイニングとする。 前回の反省点を踏まえ、開催時期をイベントが少なく気温のあまり高くない5月とする。 ~ロゲイニングとは?~ 沼津市内の建造物や飲食店などをチェックポイントとして得点が設定された地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。チェックポイントに到達した記録として、写真一覧と同じ風景を撮影する。全部のチェックポイントを回る必要はなく、チェックポイントによって得点異なるため、制限時間内に高得点になる可能性のあるルートチームで考える自由度の高い競技である。</p> <p>【コンセプト】 『スマツと〇〇する機会』</p> <p>【キャッチフレーズ】 『Eat, safety and the rogaining』</p> <p>【事業の特徴】 通常のロゲイニングとは異なり、バスの利用を可能としている。 飲食店をチェックポイントとし、商品を購入しレシートを持ってくることでポイントになる。 チェックポイントに飲食店やラブライブ関連スポットを加えたり、“スマイル賞”“仮装賞”を設けたりすることで、敷居を下げ、様々な人が参加しやすくしている。</p> <p>【開催日】 平成30年5月20日(日)</p> <p>【実施場所】 沼津中央公園含む沼津市内全域、また東海バス沼津市内運行一部エリア</p> <p>【参加対象】 沼津市内外含む競技経験者、ランナー、家族など子供から大人まで。</p> <p>【参加人数】 23チーム 65名</p> <p>【参加費】 5時間の部：3,500円 3時間の部：3,000円 両部門、中学生以下：500円</p> <p>【表彰】 各クラス1~3位のチームの他、“スマイル賞”“仮装賞”を選定</p> <p>【人員配置(当日スタッフ)・当日役割分担】 本部：2人、写真撮影：1人、エリア内見回り：7名、 集計係：8名</p>

	<p>【開催までのスケジュール】</p> <p>2月 告知・参加者募集 チェックポイント候補の選定、広報沼津への掲載 地図の作成</p> <p>5月 最終調整、前日準備</p> <p>5月20日 当日</p> <p>8:20～ 受付開始</p> <p>9:30～ 開会式</p> <p>10:00～ 競技開始</p> <p>13:00～ 3時間の部終了</p> <p>15:00～ 5時間の部終了</p> <p>6月～8月 精算、実績とりまとめ 実行委員打ち合わせ（今回の反省、次回以降に向けて、など）</p>
事業効果	<p>前回参加したチームの方も「バスの使用は良かった」という意見を再度多数頂きました。ただ今回は、通常利用者も当日は多く、途中のバス停で乗りたくても満員のため断られてしまったという意見も複数頂きました。「良かった」という意見も頂きながらも、満足のいく提供が出来なかったことは、次回への大きな課題になるかと思われます。</p> <p>沼津市内からの参加が多い当イベントですが、市外から参加された方はもれなく「楽しかった」「また参加したい」という意見を頂きました。「ロゲイニングを通しての街作り」の実施はできたのではないかと思います。</p>
今後の活動予定	<p>今回は開催日の近辺で3つの近隣のロゲイニングが被ってしまったため、そこで参加者の奪い合いが起きてしまいました。解消する方法として、マラソン大会等開催が少ない6月最後もしくは7月前半の開催を今後の候補とします。</p> <p>また、バスを使ったロゲイニングではどうしても参加料を上げなくてはいけないため、バスを使わないシンプルなロゲイニングの開催も検討に上げたいと思います。</p> <p>さらには、チェックポイント数の増加と合わせ新たに7時間の部など、より多様性をもたせた内容も検討するなど、多様性をもった内容を検討したいと思います。</p>
自己評価	<p>申込受付をだいぶ早めたにも関わらず参加人数が増えなかったのは、上記にも記載した通り大会時期が被ってしまった事が一つ大きい要因だと思われます。また、参加費をいかにして抑えるか（個人ではなくチームで統一するなど）も大きな課題となる事は間違いないと思います。</p> <p>チェックポイントも同じようなところが多くなって来てしまい、何かテーマを決めて実施する等変化が必要なことは間違いないと思います。</p> <p>そうした中で、今回取り入れた「我入道の渡し船」やいくつかの飲食店の協力による無料ドリンク等の提供は、競技の中に変化や楽しみを含ませたものとなりました。</p> <p>また、協賛・後援企業から提供して頂いた品による参加賞の提供等は、地元企業による開催やアピールを大に行えたものと考えています。</p>